

「北の記憶」を「北海道の未来」へ

〔北海道遺産とは〕

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。第1回選定分25件は平成13年10月22日に決定・公表されました。北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、各分野から道民参加によって選ばれました。

〔北海道遺産構想とは〕

掘り起こされた宝物を地域で守り、育て、活用していく中から新しい魅力を持った北海道を創造していく道民運動が「北海道遺産構想」です。多くの北海道遺産には、北海道遺産に深く関わりながら活動する「担い手」の市民が存在し、官主導ではない北海道遺産構想の象徴となっています。

北海道遺産は手を触れずに眺めるだけのものではなく、地域の中で活用しながら人づくりや地域づくり、観光促進をはじめとする経済の活性化につなげていくことこそが、この構想の最大の狙いでもあります。

- 地域の宝物を掘り起こし、育成・活用する過程で地域づくりや人づくりを展開する
- 自分が暮らすまちや地域への愛着と誇りを醸成する
- 観光の促進をはじめ、地域経済の活性化へとつなげる

稚内港北防波堤ドーム



〔道内全域〕

アイヌ語地名
アイヌ文様
北海道のラーメン